





艶やかな漆黒の髪は輝くような白銀へ
妖艶な朱色の瞳は黄金の瞳へ

その変貌を目の前にした者は誰もが心を奪われる
例えそれが己の命の灯が消える寸前であっても

「力を貸してやろう…相応の代償を頂くがな」



◇伝承の妖狐・カンナミコト

強大な力を持つ人ならざる存在。そして絶世の美女。

闇を自身の領域として数万年以上の刻を生きている。

滅びの魔王、人々を助け導く精霊など様々な伝承で語られる。

封印された自身の空間で退屈な日々を過ごしていたが、とある因果から彼女の空間に迷い込んでしまった【男主人公】と契約した。

以後、戯れの娯楽としてきまぐれに力を貸す。

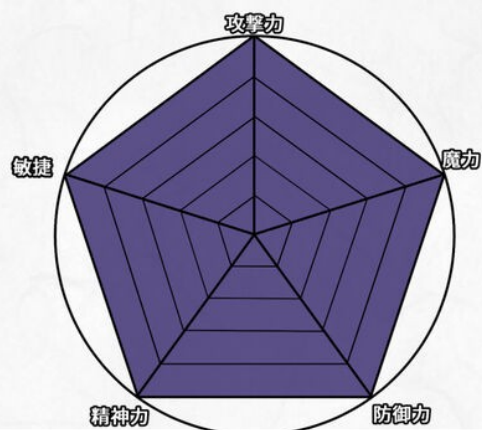
艶やかな黒髪をしているが、力の解放時には雪のような白髪になる。

◇特性・能力

最強格のステータスと能力を持つ召喚獣。

【男主人公】と契約した召喚獣ではあるが、こちらから喚ぶ事はできず、特定条件下(PTが全滅の危機に陥った時など)に低確率で勝手に召喚され戦闘に乱入する。

ピンチに必ず現れるわけではなく、また召喚されたとしてもプレイヤーの操作を一切受け付けない。彼女はきまぐれなのだ。





◇主人公の仲間・リン&サリア

【男主人公】のパーティー仲間。頼れる相棒。

元々は二人だけのパーティーだったが、そこに【男主人公】が加わった。まだ少女とっていい二人だが、冒険者としてはベテランで実力も確か。

【男主人公】と関わった事で世界の命運に巻き込まれていくのだがそれはまた別の話。

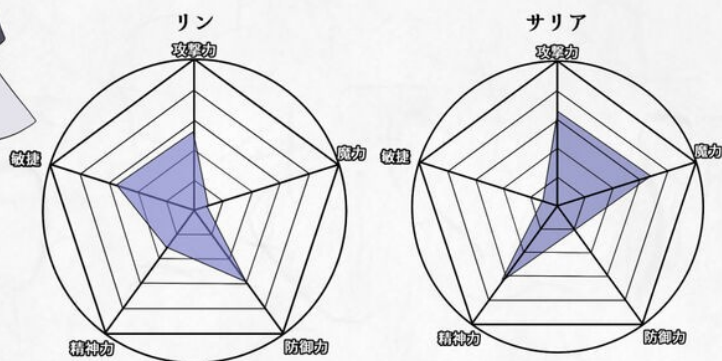
奔放且つ活発な剣士のリンと、冷静かつ毒舌の魔法使いサリアという前衛後衛かつ性格がはっきりと別れた二人でもある。

◇特性・能力

序盤から仲間になる基本メンバー。その分【男主人公】との絆も深い。

剣士としての最高職【剣聖】と魔法使いとしての最高職【賢者】

に覚醒する素質をっており非常に優秀。



◇主人公(カイト)

物語と世界観における主人公。

冒険に憧れる青年。とあるきっかけから村を出て冒険の旅に出た。

サリアとリンとの出会い、そしてカンナミコトとの邂逅と、本作の時点ですれなりの場数を踏んでいる。

しかし彼の出生には秘密があり、数々の出会いも必然であった。

やがて彼の決断は世界の命運を握る…はずだったが――

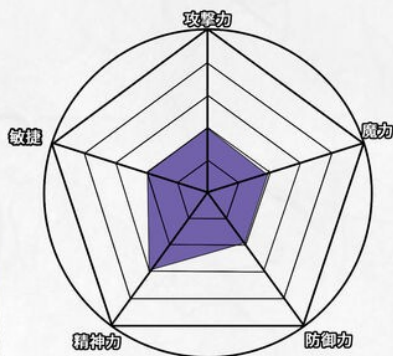
◇特性・能力

物語における主人公というポジション故にオールマイティな性能。

可もなく不可もない能力で無難に戦うことができる。

洗脳や精神干渉系の影響を一切受けない特殊能力を持っている。

性別♂であるので、特別な状態異常攻撃の影響を受けない。



◇下っ端宣教師

寂れた遺跡にてランダムでエンカウントする敵。

下っ端の名の通り教団の末端で、所謂雑魚敵。

それゆえ教団から分け与えられた能力も非常に弱い。

末端故に教団に対する忠誠心も非常に低く、僻地で好き勝手している。

◇特性・能力

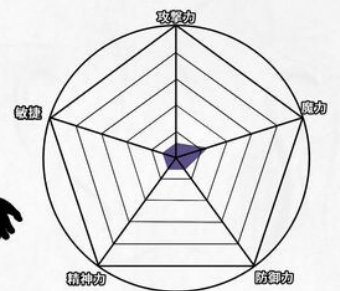
ただの雑魚敵。

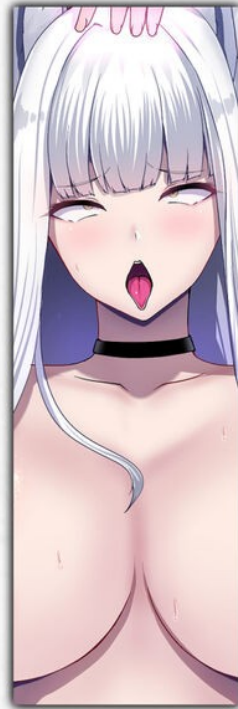
能力が非常に低くまず苦戦することはないだろう。

教団から分け与えられた洗脳の状態異常付与スキルを持っているが、付与確率0.01%と非常に低く、格上相手にはさらに下がる。

ただし完全にレジストすることはできない(確率を0%にできない)。

しかしまず成功しないため脅威とはならないだろう。





二つの大国によって大きく
分けられたこの大陸では
様々な伝承や伝説が残されている

一騎当千の戦姫が残した伝説
ホラ吹きが残した伝承
そして後世に残された伝記


伝承とは過去の記録
現世まで伝えられたおとぎ話
しかし伝承は確かに存在した



ほう…？
わらわと契約を結ぼうと
いうのか？



脆弱な人間如きが



わらわの領域に侵入した者を
捕らえ食らってやろうと思う
たが……気が変わった

これも余興……契約してやろう



我が名はバレンティノ
いつでもお前を視ておるぞ
精々：愉しませて見せよ



力が必要な時は喚ぶがいい
無論、代償は頂くがな...

サブクエスト
依頼内容
古びた遺跡に潜む怪しい
集団をどうにかしてほしい



油断はしないけどね
間抜けじゃないもの私

今更詐欺師集団くらい
わけないわ



ここが遺跡ね
...えーとなんて依頼
だっけ？

女剣士・リン

女魔法使い・サリア

今回の依頼は怪しい
集団の討伐よ
集団とか言うらしいわ

依頼内容くらい
覚えておきなさい

男主人公



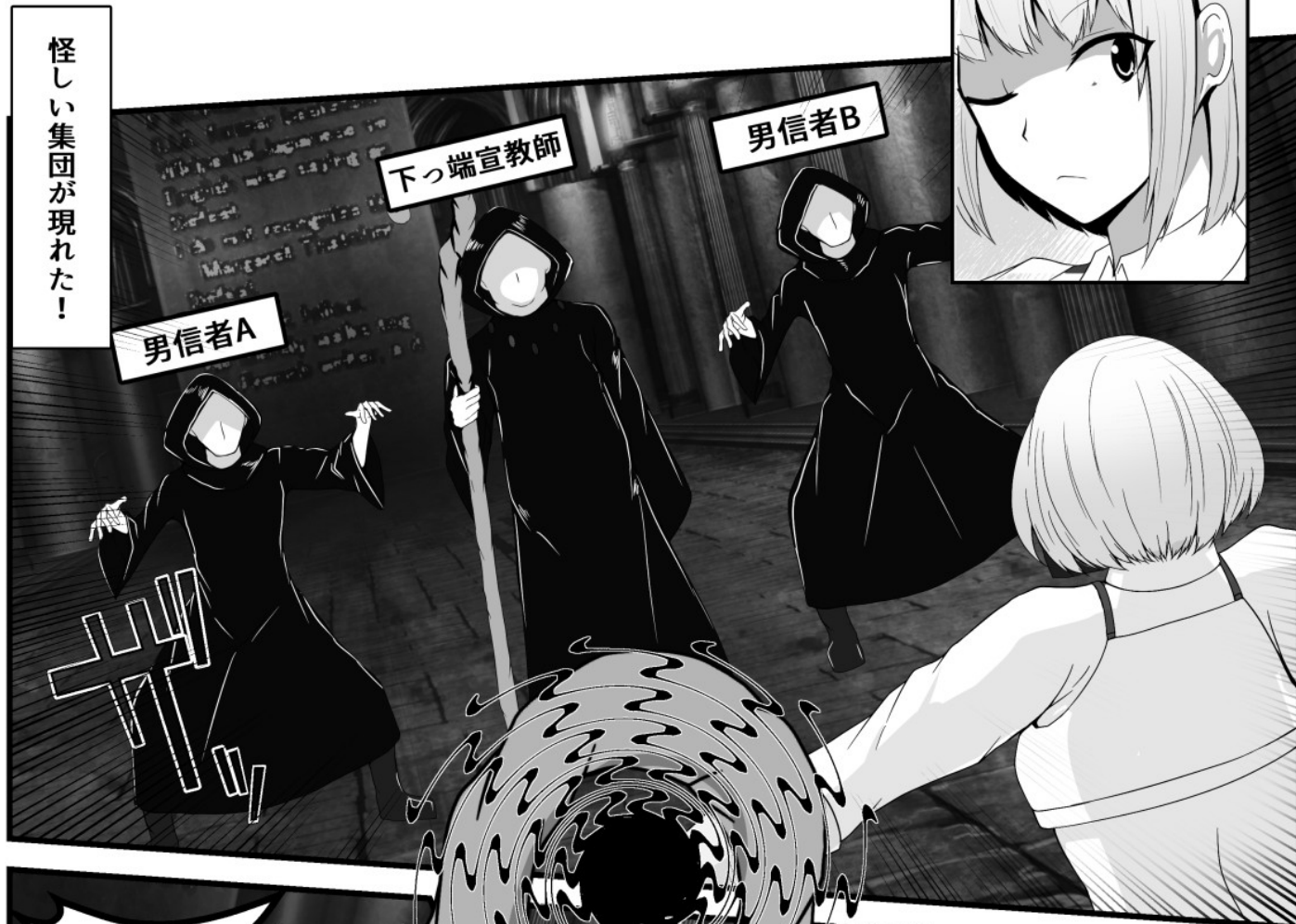
そいつらは
奥にいるんだっけ？

ええ
襲いかかってくる
かもしれないみたい

気を付けて進もう



怪しい集団が現れた！



男信者A

下っ端宣教師

男信者B

教団の教えに従いなさい

下っ端宣教師の先制攻撃



早速おでましね！

ふふん！弱そうじゃない！

全ては教祖様の
御心のままに

スズスズ...

リンとサリアは洗脳された

状態異常・洗脳(信仰)

宣教師のスキルで『低確率』で付与される状態異常。
対象の意思を封じおもうがままに操る。
洗脳状態が長く続くと徐々に本来の自我が洗脳されていく。

はい...
全裸で気を付けをします...


私たちは
一切攻撃をしません...



リンとサリアは全裸で
気を付けている

ゼニッ





ああ：臭い臭い
己の欲に染まった矮小なる者共の
匂いで満ちておるわ

このような輩にいいように
されるとは：
情けないの小童？

【伝承の妖狐】
カンナミコト

Lv 999

HP ???

MP ???

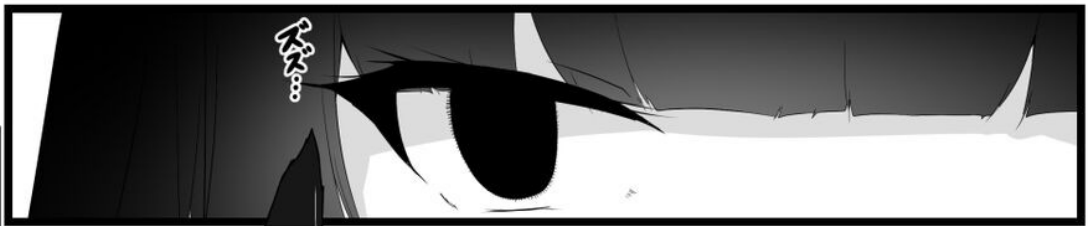


豚が足掻くか
哀れよな

下っ端宣教師の洗脳攻撃
(成功率0.01%)



ぐっ…!
教団の教えに
従いなさい!



カンナミコトは
洗脳(弱)になった



わらわの"信仰"で
貴様らを滅してくれようぞ!



さて…見るに耐えぬからな
早々に終わらせてやろう

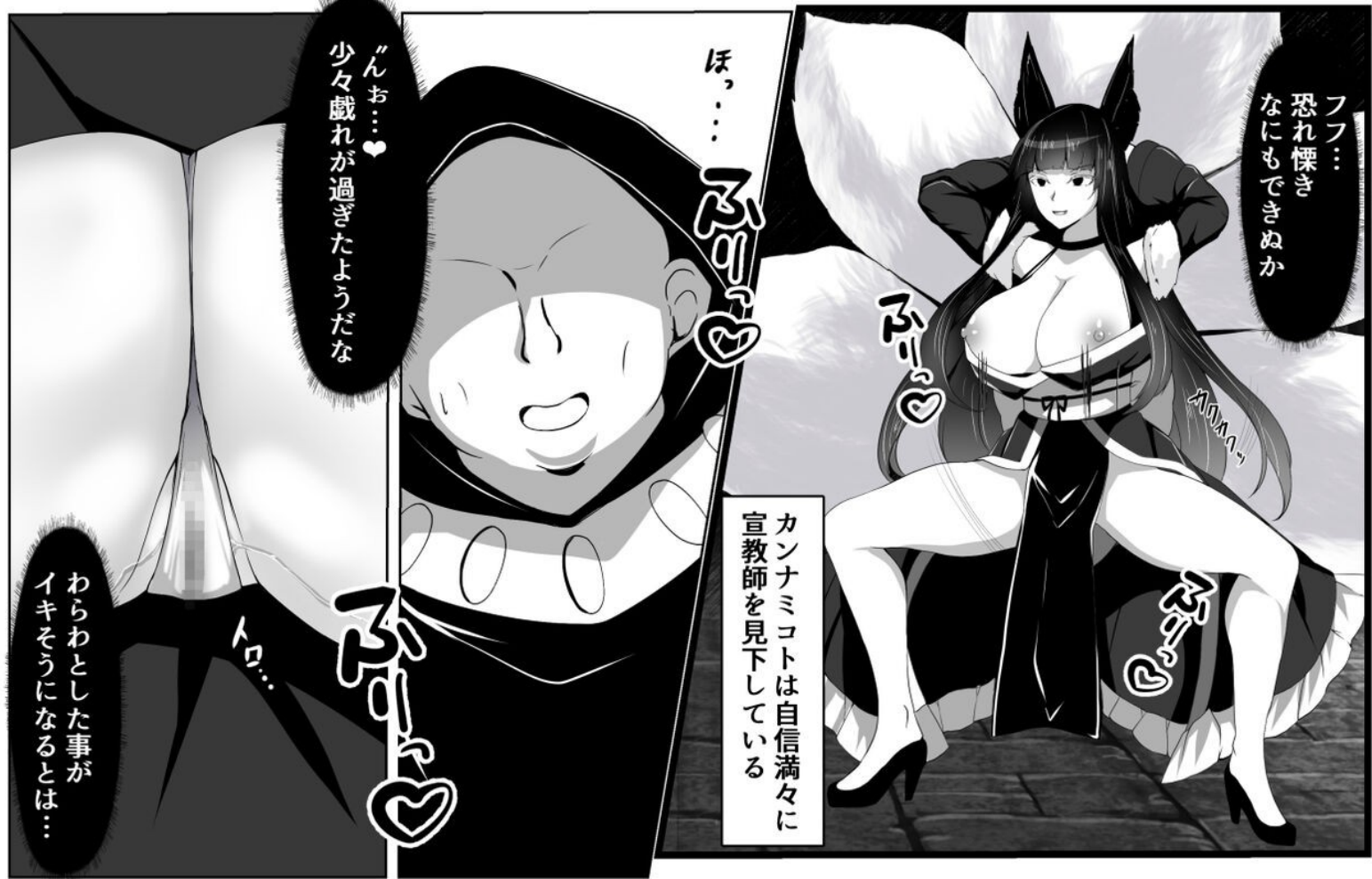


カンナミコトは洗脳(弱)状態
カンナミコトは攻撃方法を変えられた

ほっ！ほっ！
わらわの一撃を受けて
みるがいい！

カンナミコトの攻撃
腰をカクカクさせている

しかし何もおきなかった



フフ…
恐れ慄き
なにもできぬか

カンナミコトは自信満々に
宣教師を見下している

んお…♡
少々戯れが過ぎたようだな

わらわとした事が
イキそうになるとは…



宣教師の攻撃



!?



わらわの攻撃に耐える
とは…
思ったよりやるようだな

だが次で終わりよ
跡形も無く
逝かせてやろう



グンオツ♡
またイグツ!

カンナミコトは絶頂した!

カンナミコトは絶頂した!

イク…



イグツ!?

クリティカルヒット
急所の一撃!

カンナミコトは絶頂した!

110
フェニ



信徒よ
こちらに
来い



はい...



くり
くり...

ぐふふ教団に
献上するのは
勿体ない
お前は私が
飼ってやろう

行
動
不
能
カンナミコトは
全裸で
気を付け
をしている



全ては教団の
教えのままに

ススス...

では新たな信徒よ
あの若造を
消し炭にしてやれ!

ややめっ

カンナミコトの攻撃
【呪霊の炎】

はいっ!

ごはあっ!?

主人公に直撃!
主人公は燃えカスになった

くぱっ



よし奥に来い
信徒の心得を
教えてやろう...

はい

全滅した...



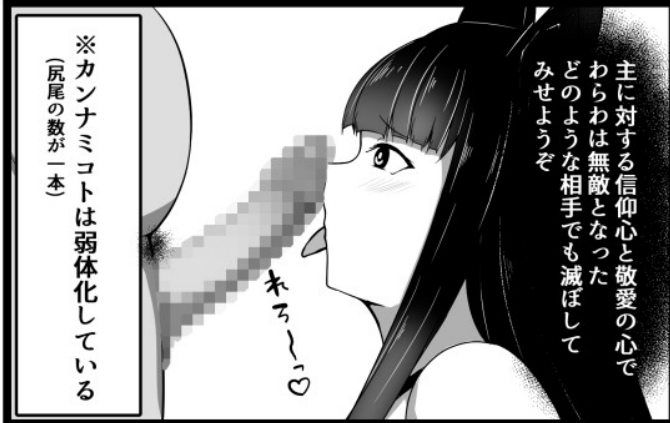


ああ…ああ！
洗礼を受けられるとは！
なんとという光栄！



我が使い魔よ
まずは貴様から
洗礼を受ける榮譽をやるう

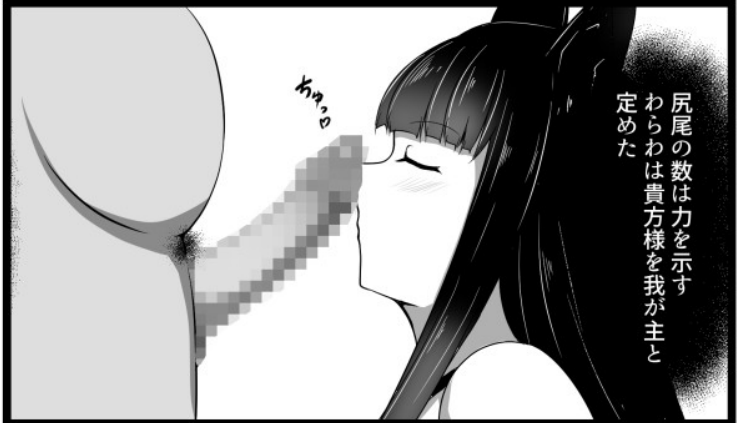
…む？尻尾の数が
少なくなっていないか？



※カンナミコトは弱体化している
(尻尾の数が一本)

主に対する信仰心と敬愛の心で
わらわは無敵となった
どのような相手でも滅ぼして
みせようぞ

キョー…♡



尻尾の数は力を示す
わらわは貴方様を我が主と
定めた

キョー



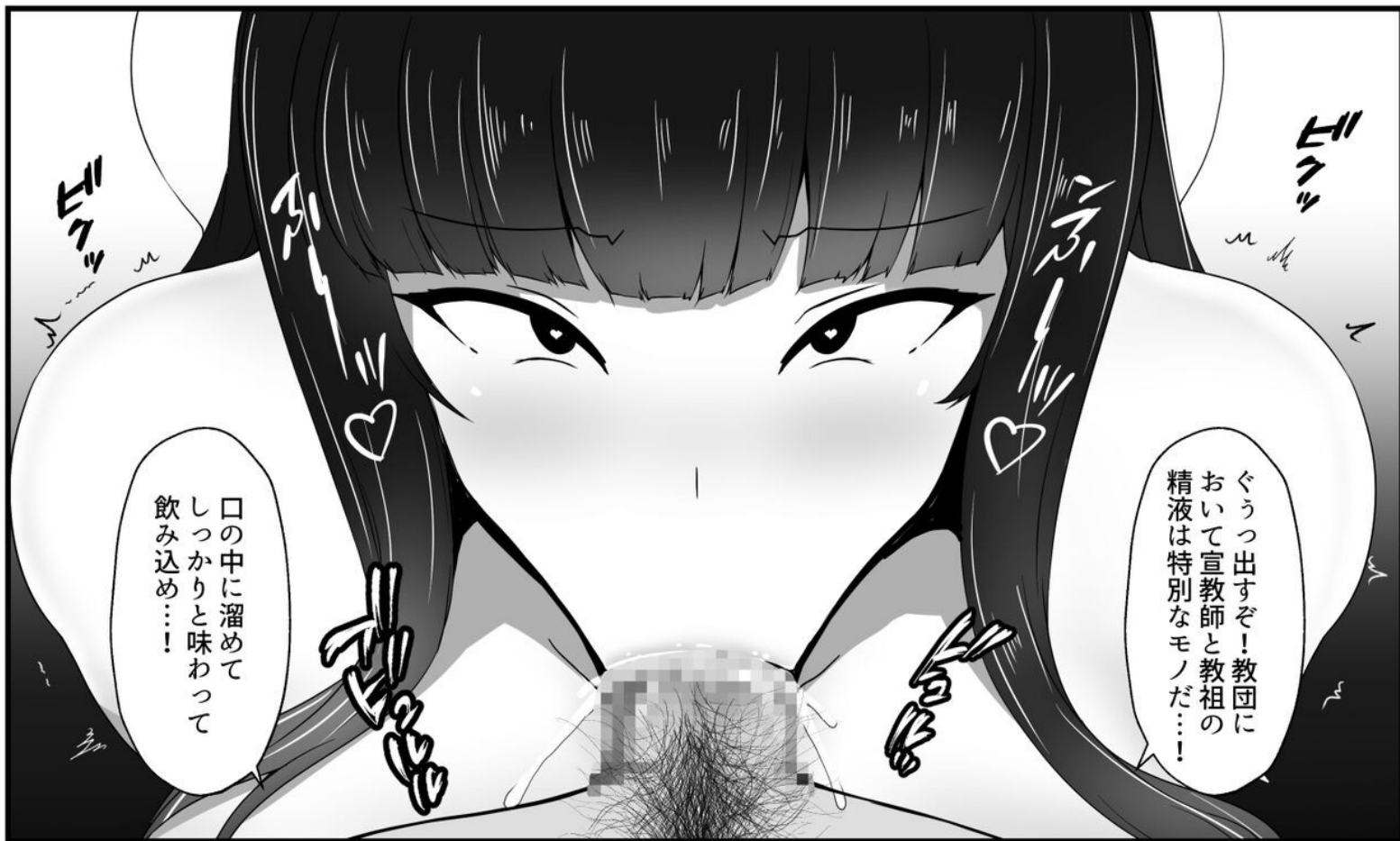
わらわの全ては主様の物
わらわは主様の使い魔だ！

♡を♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



イイぞ…実に間抜けな顔だ
お前は信者の素質があるな
ククツ…



口の中に溜めて
しつかりと味わって
飲み込め…!

ぐうっ出さず！教団に
おいて宣教師と教祖の
精液は特別なモノだ…!

これは神聖な儀式
である！
男根を受け止め
力を感じるのだ！

はいっ……

“おオオ♡感じるっ♡
信仰の高まりっ♡
マ〇コに力が満ちておるっ♡





洗礼ありがとうございますっ♡♡♡
これからは心を入れ替えて
信徒として教団に尽くします！

神聖なる白濁を受け入れ
るがいい！
これで洗礼は完了だ！



一方その頃ー
仲間がいなくなった主人公

敗北した遺跡に戻るも既に
かつての仲間達の姿は無く

仕方なく金さえあれば雇える
荒くれ者達の荷物持ちをしながら
冒険していた

今日も俺は最強だな！
おいこれ運んどけ

あ、ああ…分かった

ランダムエンカウント
下つ端宣教師が現れた

あ、あいつはリン達を
攫ったやつ!?

主人公

あん？ただの雑魚
じゃねえか

荒くれ者

敬虔なる信徒達よ
戦いなさい

教団の素晴らしさが
分からぬ愚か者共が！

女信者×3が現れた

下っ端宣教師は仲間を喚んだ

わらわの「信仰」で
滅してくれようぞ！

【宣教師の使い魔】

カンナミコト
敬虔な女信者A

Lv 9

HP 200

MP 100

ドゥン

ハッ





使えぬ
信者共め!

下っ端宣教師は
逃げ出した

リ
女信者Bを倒した
女信者Cを倒した



俺様最強!
へへっ

カンナミコト
女信者Aを倒した



いやでもこんなに弱いわけ
ないし気のせいだよな

ん...?
この変な格好の奴ら
似てる気がする



おい荷物持ち!
そんな雑魚共は放っておいて
さっさといくぞ!

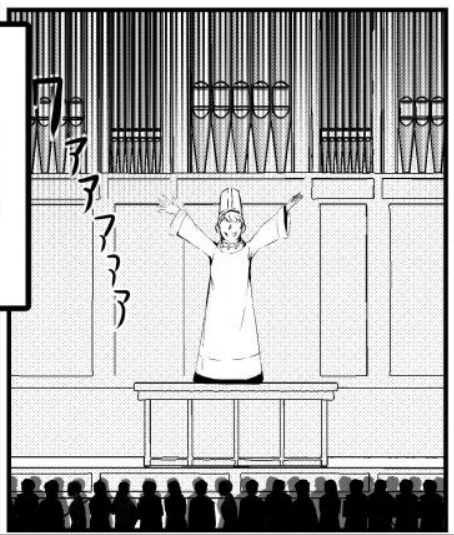
ご、ごめん
すぐ行くよ!

リン、サリア、それに
カンナミコト:
必ず見つけて助けるからな!



教祖と各地に散らばった宣教師を中心に女信者を従えた教団は各地で信者を増やしつづけ一大勢力となった

その後—



そしてその集会には漆黒の髪で絶世の美女である女信者がいたという—



各地で教団を称える怪しい集会が行われた





…随分と懐かしい力を
感じたので見に来てみれば…



「狐^{キツネ}」

キッ...

随分と愉快的な姿だな



黙れ誰が喋って
いいと言った



なんだ
貴様は!?

教団に逆らう
つもりか



…存外怒りを
覚えるものだな

知った顔がこうも
落ちぶれた姿を
見るといのは

カンナミコト
"狐"よ終わらせてやる
その豚ともどもな

カミヤマト




Another Bad End "この身を全て捧げます"

回収条件『カンナミコトが洗脳された状態で敗北後に登場する戦姫が洗脳される』を達成

魔王ヴァナディースは洗脳状態

魔王ヴァナディースは
下っ端宣教師のチ○ポに
またがって信仰を捧げている！





魔王ヴァナディースは
下っ端宣教師のチ○ポに
またがって信仰を捧げている！

魔王ヴァナディースは
下っ端宣教師のチ○ポに
またがって信仰を捧げている！

魔王ヴァナディースは
下っ端宣教師のチ○ポに
またがって信仰を捧げている！

『これからは信仰にこの身を
全て捧げます！』

魔王ヴァナディースは完全に**信仰に目覚めた！**

魔王ヴァナディースは**敬虔な女信者**に変化した！





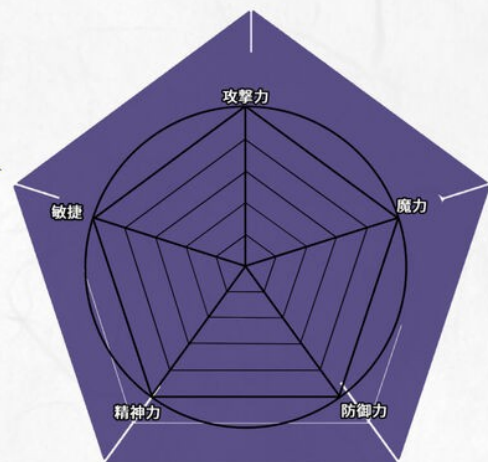
◇終焉の魔王・ヴァナディース

"この世界に終わりを告げる者"

太古の闇の時代の戦姫であり、その強大すぎる力を恐れられて封印された。とある出来事がきっかけで封印から目覚め、欲に狂った人間がはびこる現世に絶望しこの地に終焉をもたらす魔王となる。それが囿らずとも彼女の本来の役割である、大きく歪んだ世界を元に正す(バッドエンドを迎えた世界を消滅させる)事に繋がった。妖狐カンナミコトとは古の時代からの旧知。

◇特性・能力

本作の【男主人公】がカンナミコトと契約し、ヒロイン達と正しきルートを進んでいけば、隠し裏ボスとして君臨していた。



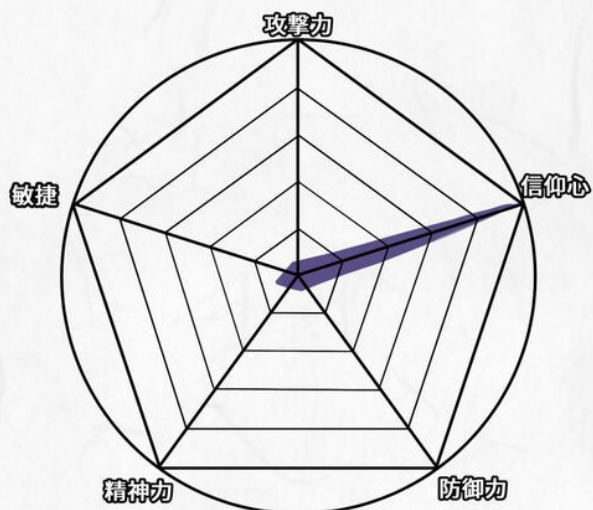


ヴァナディース
◇敬虔な女信者B

敵の状態異常攻撃によって信仰に目覚めたヴァナディース。何者にも屈しない強大な精神と力がそのまま信仰心に置き換わっているため教団に逆らう者に対して容赦が無く、教団関係者や教団内では上位の存在とされている宣教師が害されると激怒する。しかし洗脳の影響と『教祖様が力を与えてくれる』と本気で信じているため、強大な力は全て失い人として多少強い程度の力しかない。同じく女信者となった妖狐カンナミコと共に布教活動に勤しんでいる。

◇特性・能力

汎用敵化した魔王。コスチュームが女信者汎用に置き換わっている。同時に出現する宣教師を先に倒すと激怒し、能力が1%だけ上昇する。



「わらわの全ては主様の物、わらわは主様の使い魔だ！」



◇^{カンナミコト}宣教師の使い魔・女信者A

強大な力を持つ人ならざる存在だった者。

フィールドエンカウントで現れる下っ端宣教師の洗脳攻撃(確率0.01%)に当たってしまい教団の教えに感化、洗礼を受けて女信者となった。

宣教師の使い魔となることを自ら宣言し、隷属の契約を行い力の大部分を宣教師に捧げてしまい名実ともに雑魚敵と化した。

しかし下っ端宣教師に彼女の力を受け入れる器はなかった(Lv10上限にどれだけ足してもLv10)ので強大な力は誰にも受け継がれず消失した。

◇特性・能力

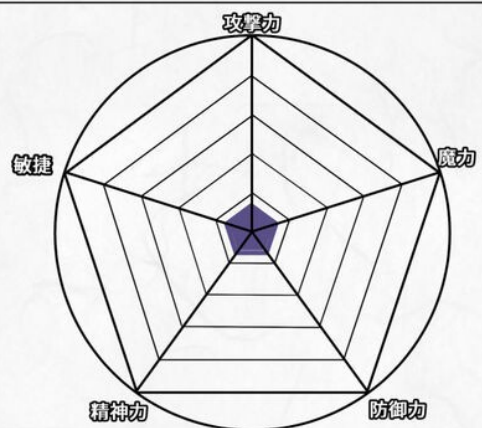
教団の女信者という雑魚敵モブと化したカンナミコト。

稀にフィールドでエンカウントする他、教団敵の仲間を呼ぶで召喚されることもある。

大幅に弱体化し雑魚モブ相当の能力しかない。尻尾も一本になっている。

所謂固有のグラフィックがあるだけの、汎用モブエネミー。

得意技は【信仰のポーズ】。※教団の女信者共通の技



凶キャラ殿北

-伝承の妖狐、カンナミコト-



凶キャラ殿北

-伝承の妖狐、カンナミコト-

この世には様々な伝承が残されている。
それは美しき戦姫達が残した偉業もあれば、根も葉もない作り話である
事もある。

しかし、伝承に語られるあやかし…妖狐カンナミコトは確かに存在していた。

人々を助ける賢者、国を滅ぼした魔王、様々な異名で語られるカンナミコトは
さまぐれな性格である。
さまぐれがこうじて賢者とも魔王とも伝え呼ばれているのだが、数千年前の
ある時に一度封印されてしまったのだ。
絶大な力を持つ彼女であれば脱出する事も出来たのだが、現世に飽きていた
彼女はそのまま眠る事を選んだ。



この世には様々な伝承が残されている。
それは美しき戦姫達が残した偉業もあれば、根も葉もない作り話である
事もある。

しかし、伝承に語られるあやかし…妖狐カンナミコトは確かに存在していた。

人々を助ける賢者、国を滅ぼした魔王、様々な異名で語られるカンナミコトは
さまぐれな性格である。
さまぐれがこうじて賢者とも魔王とも伝え呼ばれているのだが、数千年前の
ある時に一度封印されてしまったのだ。
絶大な力を持つ彼女であれば脱出する事も出来たのだが、現世に飽きていた
彼女はそのまま眠る事を選んだ。



「んむ？？」

微睡んでいたカンナミコトは意識を覚醒させる。

彼女の領域に侵入者を察知したのだ。こんなことは封印されてからただの一度も無かった。


そして彼女は見つける、まだなんの力も無い少年を。
さらに不遜にも契約をしるとのたまう。

ひと思いに食らっても良かったが、この小さな出来事は無気力だった彼女の身体に久方ぶりに力が灯った。
故に彼女は言う。

「いいだろう…契約してやろう、だが相応の代償は覚悟するがいい」

こうして彼女は眠りから覚め…力を貸すことになった。
そう彼女はきまぐれなのだ。





「ぐあっ！サリア！リン！な、なんで…！」

カイト(男主人公)は自分を攻撃してきた相棒達を見て絶望する。

その先にはニタニタした顔を浮かべる下っ端の宣教師がいた。

古い屋敷に住み着いた怪しい集団を倒すだけの依頼だった。

そして遺跡内でその集団の下っ端らしき者達と遭遇し戦闘になったが、敵が放った魔法でサリアとリン達の様子がおかしくなったのだ。

「ぐっ…どうすれば…！」

元凶の宣教師を倒そうとするも、自ら鎧を脱いで一糸まとわぬ姿になったサリアとリンが宣教師を守るように立ち塞がっている。

どうしようもできないカイトは下っ端男信徒達にじわじわ追い詰められていった。

絶体絶命かと思ったその時――

空間が歪み、現れたのはこの世のものとは思えないほどの美貌を持つ者。

「ふがない事よのお…、まあよい気まぐれだ、手を貸してやろう」

「無論、代償は頂くがな」





カンナミコトが手をかざすと、それだけで空間が支配された。



『滅するがいい』

荒れ狂う魔力の塊が彼女の手凝縮していく。
それは終焉そのものであった。

『ああああああおおおおおおおつ！？！？！』

先ほど颯爽と登場したはずのカンナミコトが全裸で自目を剥きかけながら絶叫していた。犬がするようにならんちんポーズでしゃがんだカンナミコトの頭に下っ端宣教師の手が乗せられている。

『んんんほおおおおおおおお♡♡♡……』

カンナミコトの終焉の一撃が放たれる最後の瞬間に下っ端宣教師がやぶれかぶれで出した洗脳攻撃。**本来あたるはずの無いそれがカンナミコトに直撃した上に洗脳が通ってしまった。**

そして支配されたカンナミコトは命令で自ら全裸になり無防備にちんちんポーズでしゃがみこんだ。そしてされるがままに今の状況になっていた。



その様を、カイトは同じく洗脳状態のサリアとリンに取り押さえられながら
呆然と見ていた。

カンナミコトは洗脳されている！



『いぎっ♡あがっあがががががが！』

下っ端宣教師がより強く洗脳の力をこめると、カンナミコトは大きく身体を震わせそしてまるで壊れた機械のように痙攣を激しくした。カンナミコトの並外れた耐久力と精神力が限界に近づいてきているのだ。状態異常である洗脳を解除しようとしても、常に下っ端宣教師に攻撃をされているような状態のためどうしようもできない。



だらしなく口角を上げたまま白眼を剥いて失神をしたカンナミコト。
絶叫は止み、チヨロチヨロと失禁の音だけが当たりに響いたのだった。

カンナミコトは洗脳されている！

カンナミコトは洗脳されている！

カンナミコトは洗脳されている！



「そ…そんな…」

カイト眼前の光景に絶望する。
サリア、リン、そしてカンナミコト。
全裸状態の三人：頼もしい味方全てが下っ端宣教師の手に堕ちてしまった。
カンナミコトも先ほどまでの醜態から打って変わり、ちんちんポーズは
そのままに凛々しく、それこそまるで忠犬のように宣教師と共にカイトを
睨みつけている。

「ククク…我が使い魔よ！あやつを消し去ってしまえ！」

命令されたカンナミコトは魔力を漲らせ…

「うわああああああつー！」

荒れ狂う暴風にカイトは遺跡を飛び出しはるか彼方まで
吹き飛ばされてしまったのだった。



「……ハッ！」

見知らぬ天井で目を覚ましたカイト。
どうやら宿屋らしく、宿屋の主人に聞くとまったく知らない村だった。
カイトはそんな村の中心に倒れていたらしい。

カイトは遺跡で仲間達を奪われた後にカシナミコトの攻撃で
どこもしれない村に吹き飛ばされていた。

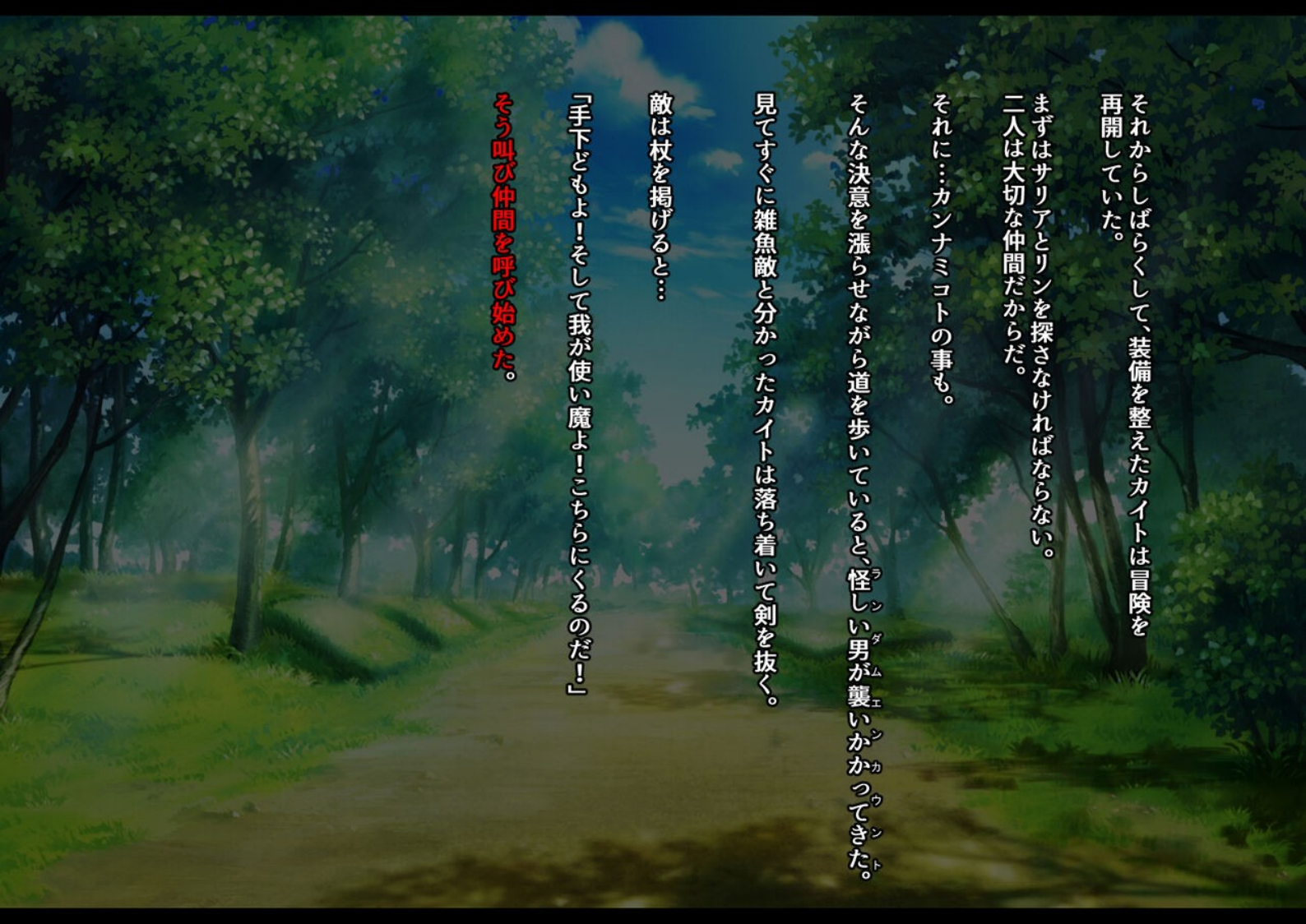
「サリア達を探さないと……！」

とはいっても闇雲に探すわけにはいかないし、一歩村からでたら
魔物や悪漢達に襲われる可能性もある。

装備を買うためにはお金を稼がないといけない。

始めて冒険に出発した時と同じような状態だが、希望と絶望の差に
カイトは溜息をついたのだった。





それからしばらくして、装備を整えたカイトは冒険を再開していた。

まずはサリアとリンを探さなければならない。
二人は大切な仲間だからだ。

それに…カンナミコトの事も。

そんな決意を漲らせながら道を歩いていると、怪しい男が襲いかかってきた。

見てすぐに雑魚敵と分かったカイトは落ち着いて剣を抜く。

敵は杖を掲げると…

「手下どもよーそして我が使い魔よ！こちらにくるのだ！」

そう叫び仲間を呼び始めた。

その瞬間のこの場に不釣り合いなほどの魔力の暴風が吹き荒れる。
そして姿を見せたのはカンナミコトだった。
不敵な笑みを浮かべる彼女は、雑魚敵の召喚によって姿を現したのだ。



カンナミコトを召喚した雑魚敵は彼女に近づくと信じられない事に
思いつきり豊かな胸をわしづかみにして叫んだ。

「貴様あ！牝召喚獣風情が服を着るないつも言っているだろうが！
どうやら賤が足りないようだなあ！！」

「も、申し訳ございませんー!」

そして信じられない事にカンナミコトは格下相手に跪き、自身の魔力で構成された衣装を解き、その美しい肢体をあますことなく露にする。豊かな胸の頂点には光輝くピアスが付けられていた。カンナミコトは胸を反らし、それを誇らしげにアピールする。



「ただいま到着しました!」

カイトが呆然としていると新たな敵が到着する。その姿を見てカイトは更なる混乱に陥る。それは露出の多い衣装をきたサリアとリンだった。

「よし!お前達!戦え!」

その雑魚敵の一言で彼女達は雑魚敵の男を守る様に立った。



雑魚敵の命令でガニ股腋見せのポーズをしたカンナミコトは魔力を漲らせる。



「クク…このような雑魚など、わらわの一撃で葬ってくれよう」

カイトの事を覚えていないのか、それとも認識できないのか、
全裸の恰好のままカイトに向かって不敵な笑みを浮かべるカンナミコト。

「そして…ご主人様から褒美の寵愛を頂くのだ！」



「んお…♡ご主人様からの寵愛を想像しただけでイク…!」

溢れる力に呼応するようにカンナミヨトの髪色が変化していく。

カンナミコト(下僕)が現れた！



カンナミコトは魔力を溜めている！

カンナミコトは魔力を溜めている！

カンナミコトは魔力を溜めている！



「クククツ…滅するがいいー!」

使い魔カンナミコトはガニ股のポーズのまま魔力を解放する。



新たな冒険の始まりに出会うにはあまりに過剰すぎる攻撃がカイトを襲い…

「そそんな…うわあああああああああつ!」

跡形もなくチリとなって消えた。
カイトの冒険はそこで終わってしまったのだった—。

「ククク…滅してやろう！」



◇最強の雑魚敵・カンナミコト

強大な力を持つ人ならざる存在。

フィールドエンカウントで現れる下っ端宣教師の洗脳攻撃(確率0.01%)に当たってまいモブエネミーの使い魔となった。

使い魔になったとしてもその能力はそのままであり、

強大な力を自在に扱うことができるが、命令には絶対服従である。

◇特性・能力

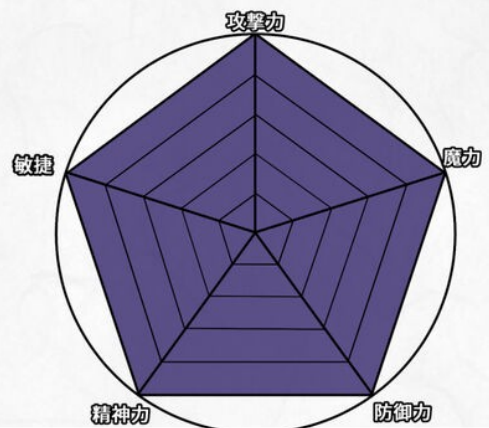
雑魚敵の使い魔と化したカンナミコト。

稀にフィールドでエンカウントする他、雑魚敵の召喚で登場する。

召喚主は雑魚敵だが、カンナミコト自身の能力は最強の召喚獣

そのままであるためまず倒すことはできない。

しかしゲームシステム上の扱いは雑魚敵扱いのため、最強の雑魚敵というバグめいた挙動になっている。



カンナミコト 図鑑

さいきょう の しょうかんじゅう の さまざまなすがた

【状態異常・催眠】 【淫魔化の隷属ピアス】

カイトはピンチに陥っていた。
道中で遭遇した敵の催眠術師によってサリアとリンは裸で踊っている。
その顔は真剣そのもので、敵の催眠術攻撃で攻撃の方法を変えられて
しまっていた。

「くっ……どうすれば……」

絶対絶命のその時、最強の召喚獣カンナミコトが姿を現す。

催眠術師は反射的にカンナミコトに向かって催眠術攻撃を繰り返した。

「そのようなものがわらわに通じると思ったか？ さあ……踊り狂うがいい！」





「わらわのマ○コにひれ伏すがいい！

カンナミコトは催眠状態

カンナミコトは深く腰を
落として激しく踊り始めた！

カンナミコトは自らアソコを
くぱくぱしている！

しかしなにもおきなかった！

くぱくぱ♡



「ほっ♡ほっ♡ほっ♡ほっ♡」

カンナミコトはさらに
深く催眠状態に陥った！

カンナミコトは一心不乱
に腰を振り続けている！

カンナミコトは一心不乱
に腰を振り続けている！

カンナミコトは一心不乱
に腰を振り続けている！

しかしなにもおきなかった！



敵催眠術師は**絶頂カウントダウン**を
と唱えた！

絶頂カウントダウン：3ターン

カンナミコトはイクのを
我慢している！

絶頂カウントダウン：2ターン

カンナミコトはイクのを
我慢している！

絶頂カウントダウン：1ターン



催眠術師の**特殊攻撃!**

カンナミコトは**絶頂の余韻**で
行動不能!

カンナミコトは**隷属の乳首ピアス**
を付けられた!

カンナミコトの**身体が変化する!**

カンナミコトは淫魔になった





■淫魔化したカンナミコト

□隷属のピアスと淫魔化

その戦闘中のみ有効な特殊なアクセサリ【隷属のピアス】。

敵の攻撃で着けられる他に、アイテムを使用することでつけられる自爆アイテム。

快感を高め絶頂しやすくなる効果を持ち、その戦闘中は外せない。

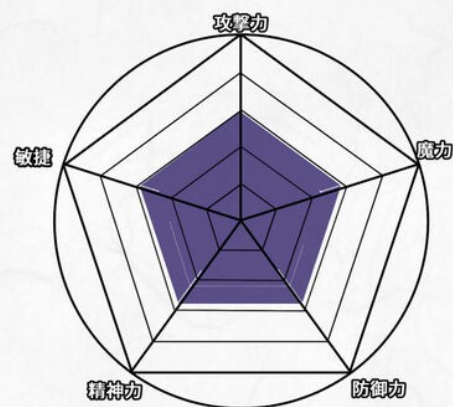
隷属のピアス装着中に絶頂もしくは絶頂の余韻中に装着されてしまうと【淫魔】というモンスターに変化してしまう。

□モンスター【淫魔】

フィールド上でエンカウントするモブエネミー。

敵として出現する他、仲間の女性キャラが変化することもありその場合は固有のグラフィックとなる。

カンナミコトは能力の弱体に比例して、尻尾の数が一本になる。



【状態異常・洗脳戦闘員化】

カイトはピンチに陥っていた。突如現れた珍妙な集団に囲まれていた。男と思わしき全身スーツを着た者達にびっちらりと張り付いた半ば透けているハイレグスーツを着た恐らく戦闘員であろう女達が付き従っている。

「な、何なんだ…まったく意味が分からない…」

困惑するカイトの隣にカンナミコトが現れる。

「クッククククツ…なにやら珍妙な事になっておるな。これは滑稽劇と
いうやつか？」

滑稽な、哀れな者を見るような目でひとしきり嗤ったカンナミコトは魔力を
迸らせる。

「愉しませてもらった褒美だ…苦しまず逝かせてやろう」

魔力の暴風を前にして、敵の男はやぶれかぶれで洗脳光線銃を乱射した――



戦闘員部隊長 は 仲間を呼んだ！

「ハッ！加勢いたします！」

戦闘員A があらわれた！

カンナミコト

戦闘員B があらわれた！

戦闘員C があらわれた！



戦闘員部隊長の命令！

「忠誠心を示せ！！！」

「帝国に栄光あれ！！！」

カンナミコト

戦闘員B は溢れる忠誠心
を抑えられない！

カンナミコト

戦闘員B は帝国式敬礼オナニー
をして力を溜めて
いる！

ゼ
ニ
ム

！！！！



カンナミコト
戦艦員B

は帝国式敬礼オナニー
でイキそうになっている！

カンナミコト
戦艦員B

は命令が無ければ
イク事を許されない！



戦闘員部隊長の命令！

「攻撃しろ！！」

「栄光あれええっ！！！」

カンナミコト

戦闘員B は派手に絶頂をキメると同時に力を解放した！

カンナミコト

しかし 戦闘員B ではMPが足りない！



カンナミコト
戦闘員B

は絶頂の余韻で行動不能！





■ 戦闘員化したカンナミコト

□ 洗脳状態と戦闘員化

特殊な敵の状態異常攻撃で陥る洗脳状態の一つ。

一度攻撃を受けただけでは行動不能になるだけだが、連続で受けるとその味方は連れ去られ強制的にパーティーから離脱させられる。

その後、汎用雑魚敵の【戦闘員】として登場する。

フィールド上で遭遇することもあるほか、部隊長の戦闘員招集であられることもある。

絶対的な忠誠心を植え付けられており、正気に戻せる確率は低い。

□ 汎用モブエネミー【戦闘員】

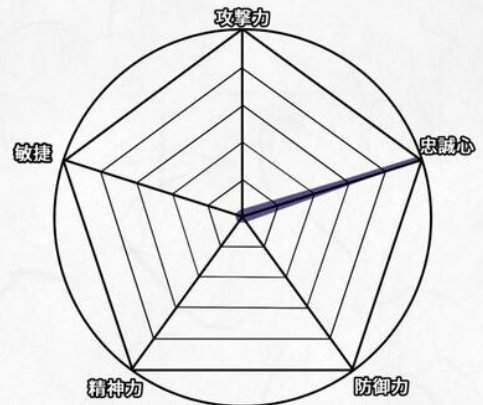
フィールド上でエンカウントする他、部隊長と一緒に大量に。

出現するモブエネミー。

戦闘員化した仲間の場合固有グラフィックとなる。

同時に大量に出現する代わりに、一体一体のステータスは非常に低く、Lv1かつ全ステータス数値が最低値。

洗脳によって様々なすりこみをされており、意味不明な行動を組織の規範として大真面目に行う。



【状態異常・魅了】

カイトはピンチに陥っていた。街中で人気の無い区画を歩いていた所、チャライ男達が襲い掛かってきた。腕っぷしはまったく強くなさそうな敵だったので、サリアとリンそしてカイトは迎え撃つことにした。

「君と熱い夜を過ごしたいな♪」

チャラ男敵の一人がそうサリアに囁くと、サリアはまるで恋する乙女のような顔をしてそのチャラ男Aと何処かについてしまった。

そしてリンもまた同じようにチャラ男Bに連れられて行ってしまった

「サリアーリン！な、なんで…」

項垂れるカイトの隣に妖狐カンナミコトが姿を現す。

「最近の女子はこんな軟弱な者が趣味なのか？」

カンナミコトは現れるなり、その場に残っていたチャラ男Cに侮蔑の視線を向ける。

一方雑魚敵チャラ男Cは突如現れた絶世の美女に色めきだつた。

「君の全てを僕に欲しくないかい？」

カンナミコトに向かってそう囁いたチャラ男C。



「失せよ 軟弱な人間…如きが…」

チャラ男Cに底冷えるような冷徹な視線を向けていたカンナミコトだったが、喋っている途中で顔を伏せてしまった。

手ごたえを感じにやついた顔を浮かべたチャラ男Cはカンナミコトに近づきなれなく身体に手を回す。

「まずは俺達お互いを良く知らないよね…近くに宿があるからそこでお話しない？」

「う、うむよかるう…」

そういつてチャラ男Cについていってしまうカンナミコト。

後には呆然としたカイトだけが残された…。



チャラ男はカンナミコトに愛を囁いた！

カンナミコトはチャラ男に魅了されている！

カンナミコトはチャラ男と
恋人のような接吻を交わしている！





ち♡
ん♡
♡
ち♡
ん♡

ち♡
ん♡
♡

チャラ男はカンナミコトに再び愛を囁いた！

カンナミコトはイッてしまった！

「ンッ♡愛しておるぞ♡」

カンナミコトはもうチャラ男の事しか考えられない！

カンナミコトはもうチャラ男の事しか考えられない！

カンナミコトはもうチャラ男の事しか考えられない！

ち♡
ゅ♡

ち♡
ゅ♡

ち♡
ゅ♡







カンナミコトはもうチャラ男の事しか考えられない!

カンナミコトはもうチャラ男の事しか考えられない!

カンナミコトはもうチャラ男の事しか考えられない!

カンナミコトはもうチャラ男の事しか考えられない!

カンナミコトはもうチャラ男の事しか考えられない!

ちゅ♡ん♡
ちゅ♡ん♡

ちゅ♡ん♡



■魅了されたカンナミコト

□魅了状態と夢中状態

特殊な敵の状態異常攻撃で陥る状態異常の一つ。

【愛を囁く】などの特定の攻撃を性別♀キャラクターが受けると陥り、一度目は好意を覚えて攻撃できなくなり、二度目は攻撃をかばったり敵に対して回復を行ったりするようになる。

またお持ち帰りをされる事もあり、その場合は一時的にパーティーから外れる。近くの宿屋で合流できるが、永続的に魅了にかかりやすくなる。

□汎用モブエネミー【チャラ男】

街に近いフィールド上でエンカウントするモブエネミー。

戦闘能力は皆無でどんな攻撃でも一撃で倒せる。

魅了系の技を多く持っており、魅了した相手をお持ち帰りする
場合がある。

カンナミコト 図鑑その2

さいきょう の しょうかんじゅう の さまざまなすがた その2

カンナミコト(下僕)が現れた!



◇ボテ腹カンナミコと
出産後カンナミコ

◇一度でもボテ腹状態になって
乳首の色が変わってしまうと
二度と戻らない





◇戦姫バッドエンドAfterの戦姫
ヴァナディースの立ち絵バリエーション

◇本来登場予定は無く、ゲストとして
カメオ出演程度のはずが新規の
立ち絵を描いてしまいました。

◇状態異常・洗脳(信仰)

洗脳状態が長く続いたため直すことはできない。

◇教団女信徒の印章

教団女信徒の証。
男のアレを象った首飾り。
敬虔な女信徒は常に身に着けている。

◇教団女信徒服

モブエネミー教団女信徒の汎用コスチューム。
常人であれば着ている方が恥ずかしい。
防御力補正は0。

◇教団女信徒のぱんつ

モブエネミー教団女信徒の汎用コスチューム、そのぱんつ。
聖なる習わしで白と定められている。
コスチュームのスカートが意味をなしていないので常に丸出し状態になっている。



◇信仰のポーズ

大きく足を開いてしゃがみ合わせた手を上に向かって大きく突き出す。
宣教師様や教祖様のチ○ポの上に跨って腰を上下に動かした時の事を思い出しながら祈りを捧げる。
由緒正しき信仰の姿勢である。

特になんの効果もない。



◇リンとサリア

物語上はヒロインなのだが本作においては
一瞬で雑魚敵化(女信者化)してしまった。
カンナミコトと一緒に洗脳されて信徒になった二人は
今もどこかで信仰に勤しんでいる。

カンナミコトの信仰のポーズお披露目のコマで
一緒に登場している女信者は彼女達である。





カンナミコトは催眠状態
カンナミコトは深く腰を
落として激しく踊り始めた！
カンナミコトは自らアソコを
くばくばしている！
しかしなにもおきなかった！



◇催眠によって**攻撃方法の認識を**
変えられてしまっているカンナミコト

◇恥部を全て晒して深く腰を落とし
ガニ股のまま全力で激しく前後に
腰を振る＝攻撃

◇アソコを指でくばくばする＝魔法攻撃

◇この状態だと攻撃するたびに快感が
たまりMAXの状態ですらに攻撃すると
イク



戦闘員達は高まる忠誠心を
抑えられず一斉に敬礼オナニー
を始めた！





- ◇女戦闘員というモブエネミー化してしまったカンナミコト。
- ◇こうなってしまうと今までの人生や肩書きなどなんの意味も無い。ただの一体の戦闘員。
- ◇能力は雑魚だが美貌はそのままのため部隊に入れられたその日に隊長の部屋に連れ込まれた。
- ◇弱体化によって尻尾は消失している。



◇女戦闘員汎用グラフィック。

◇元がヒロインや物語上重要人物だったとしても
状態異常によって戦闘員化しモブエネミー
として戦闘に登場する時はマスク姿になる。

◇女戦闘員の下腹部に刻まれている紋章は部隊によって
違いがあり、ゲームシステム上刻まれている紋章によって
微妙に強さが違う。そもそも名前が一律で【女戦闘員】のため
紋章の違いでしか強さを判別できない。



2Dドットアニメ・カンナミコト



◇爪で横薙ぎに一閃
空間すらも切り裂くような鋭い一撃が
放たれ、敵を一刀両断した。

2Dドットアニメ・カンナミコト



◇爪で切り裂く攻撃
優雅で美しいだけではない
凶暴な姿もまた彼女の本質である。

2Dドットアニメ・カンナミコト



◇洗脳されて信仰に目覚めたカンナミコトの攻撃モーション。
しゃがみこみ両手を合わせて上に掲げる行動は女信者共通のもの。

2Dドットアニメ・カンナミコト



◇催眠をかけられ、攻撃方法を変えられて
しまったカンナミコト
不敵な笑みを浮かべる彼女は今自分が
どんな姿でどんな行為をしているか
正しく認識できず、攻撃していると
思い込んでいる

2Dドットアニメ・カンナミコト



◇洗脳魔術師の手で洗脳中のカンナミコト
ターン毎に洗脳が進行し、**攻撃して阻止**
できなければ敵化してしまう

2Dドットアニメ・カンナミコト



◇催眠をかけられ直立するカンナミコト
この状態になってしまうと操られ放題
服を脱げといわれたら素直に従って
しまう

2Dドットアニメ・カンナミコト



◇ゲームにおける主人公…という設定のキャラ
一応カンナミコトと契約したりとこれまで
様々な冒険を繰り広げてきたのだが、
動画では単なるやられ役



































ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

Mu m

Mu

Mu

Mu

Mu





















凶キャラ殿北

-伝承の妖狐、カンナミコト-